

統計的思考による米国国際競争力の再生 —米国に於けるデミング博士の役割—

Part I

カリフォルニア州立大学名誉教授
ジョイ・オブ・ワーク推進協会理事長
吉田耕作

日本統計学会
統計教育シンポジウム
2011年3月4日

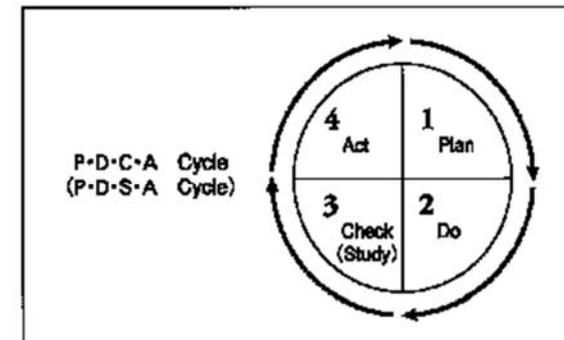
アメリカにおけるデミング博士

- 1980年NBC「もし日本に出来るなら、なぜ我々にできないのか」
- デミング博士の四日間セミナー「質と生産性と競争力」
- 総聴講者数： 20万人
- デミング経営哲学： 統計的品質管理 + 日本的経営
- 戦後日本ではQCを教えられたが、1980年代アメリカではあらゆる組織体に競争力をつけるための経営学を教えられた。これがTQMである。

デミング博士はアメリカで 何を教えられたか

- 統計学を机上の空論としてではなく、ビジネスの現場で役に立つ実践学として広めた。
- これにより、アメリカは70年代の末、国家的破綻に直面していた米国の国際競争力を回復し、90年代の国際競争力世界一になる土台を築いた。

理論と現実の連携を明確にしたPDCAサイクル



●シューハートサイクル(デミングサイクル)

デミング博士及びTQMのアメリカへの貢献

- フォード会長 ダン ピーターソン
- Ford, GM, Federal Express, Hewlett Packard, Proctor and Gamble, GE Engine, GE Capital, American Express, Marriott, IBM その他多数の企業。
- 米国は非製造業にもTQMを応用した。
- 日米の国際競争力、90年代に逆転、日本は今、国家的危機に瀕している。

TQMの効果

- 日本の民間企業の中で最大の資産価値を誇るトヨタはTQMが日本で最も盛んな会社である。
- 米国の民間企業の中で最大の資産価値を誇るGEはシックス・シグマと呼ばれるTQMの最も盛んな企業である。
- 米国連邦政府がクリントン政権の時、29年来の赤字を黒字に転換させた手法もTQMである。

連邦政府の役割

- 米国では連邦政府や州政府がTQMに熱心であった。
 - Federal Quality Institute
 - National Baldrige Quality Award
- ゴア副大統領：TQMによる行政改革
政府の29年来の赤字を解消⇒大幅黒字

16兆円ものコスト削減で 単年度黒字達成

(1)

ゴア副大統領はTQM活動を組織化し、最前線の現場で働く連邦政府の国家公務員の内、6万8千人が1378チームを形成し、具体的な改善活動を行い、530億ドル(6兆3千億円)以上の経費削減や経済性の改善をもたらし、ゴア副大統領に表彰されたのである。

16兆円ものコスト削減で 単年度黒字達成 (2)

民間のTQMを取り入れるグループは5年間に1770億ドルに上る個々のコスト削減を提案し、1998年の時点ですでにそのうち1370億ドル(当時の1ドル=120円で換算すると約16兆円)は削減されている。

その結果、2期目のクリントン政権では毎年財政収支は黒字になり、2000年には約2362億ドル(約24兆円)の単年度黒字を達成したのである。